

学力調査結果をお知らせします

教育指導課指導係 ☎0824-73-1184

本年度実施した、全国学力・学習状況調査および広島県児童生徒学習意識等調査の結果は次のとおりです。庄原市の児童生徒の学力や学習の状況をお伝えします。

全国学力・学習状況調査の結果

文部科学省が行う全国学力・学習状況調査が5月27日に実施され、小学6年生と中学3年生が参加しました。

表1 各教科の平均正答率

〔小学6年生〕 (%)

教科	庄原市	広島県	全国
国語	70	66	64.7
算数	72	70	70.2

〔中学3年生〕 (%)

教科	庄原市	広島県	全国
国語	68	65	64.6
数学	56	57	57.2

※庄原市・広島県の平均正答率は整数値で公表

小学生は、国語科・算数科ともに全国・県平均を上回っています。中学生は、国語科は全国・県平均を上回っていますが、数学科は下回っています。また、それぞれの教科に共通した課題として、自分の考えを記述する問題の正答率が低い傾向にあります。

今後は、自分の考えを表現する「書く力」や「読解力」の育成、日常生活に関連した指導など、各校でさらなる取り組みの充実を図ります。

広島県児童生徒学習意識等調査の結果

広島県教育委員会が行う児童生徒学習意識等調査が6月8日～18日に実施され、小学5年生と中学2年生が参加しました。

図1 家庭学習

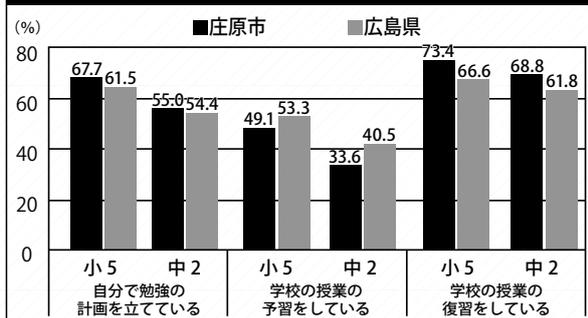


図2 家庭学習の時間

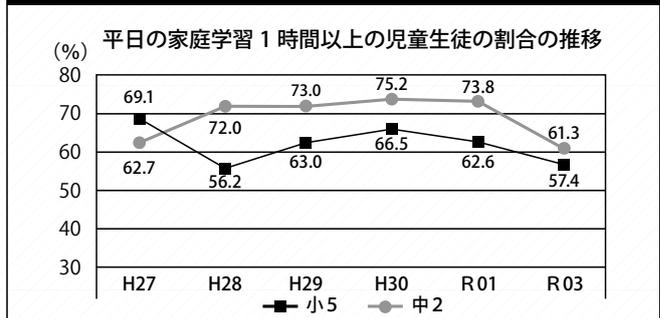


図3 テレビやゲームの時間

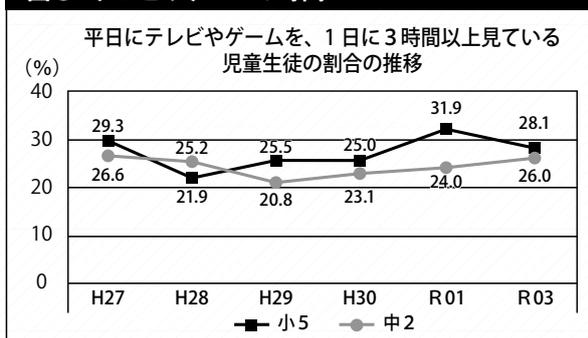
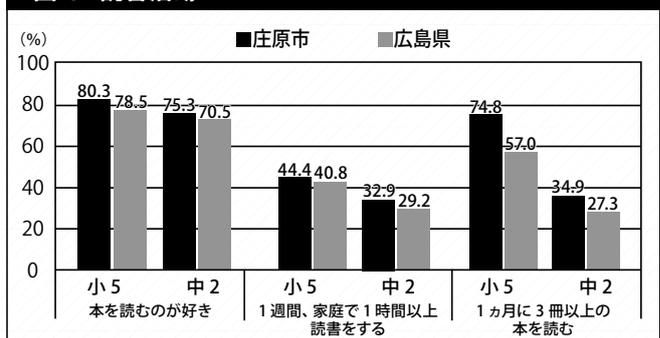


図4 読書活動



※令和2年度は調査実施なし。 ※数値は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的に回答している割合。

授業の予習をしている割合(図1)は、県平均を下回っているものの、自分で勉強の計画を立てたり授業の復習をしたりしている割合は、県平均を上回っています。また、家庭学習の時間(図2)は、小・中学生ともに減少傾向にあります。

テレビやゲームの時間(図3)は、小学5年生は減少しているものの、中学2年生は増加傾向にあります。家庭での過ごし方について考えたり、メディアとの接し方についてルールをつくったりすることが必要です。

読書活動(図4)は、いずれの数値も県平均を上回っています。また、「1か月に3冊以上の本を読む」については県平均を大きく上回っており、本をたくさん読んでいる児童生徒が多いことが分かります。

今後も市教育委員会では、児童生徒の望ましい生活習慣の定着と学力の向上に向け、家庭・学校・地域が連携した取り組みを進めていきます。